

二 廣報



しょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖 東 印 刷 所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

人口と世帯

世帶數	3,960	世帶
人口	17,091	人
內 訊 { 男	8,255	人
{ 女	8,836	人

住民登録調 (52年6月末日現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。

手作りの七夕を楽しむ

五城目保育園では、七日ちびつ子牽牛(けんぎゅう)と織女による七夕まつりを行った。六〇センチばかりのささ竹に、それぞれの願いと星まつりにふさわしいアクセサリーをつけた。これは、手作りの七夕を自分で楽しめるようにねらったものだ。が、園児たちは、かざりつけの器用な子、なかなか思うようにいかない子、それぞれいいわいがやがや言いながら、取り付けに余念がなかった。

出来上ると園庭に整列、保母さんがはやす太太鼓、小太鼓の音色に合せて、太竹を中心に二度、三度回って終り。たったこれだけのことが、子どもたちにとっては準備から作業、出来上りまでの過程で夢がだんだんふくらんでいく、そして自らの手による作品の完成におよんで、喜びは頂点に達するのである。態度にそれがよく表れている。

ユニークな昔人の知恵

七夕は恋焦がれたひこ星とひめ星が、年に一度夏の夜空で逢瀬を楽しむものとばかり思っていたら、本当は旧暦の七月七日

時を超越する七夕物語

で、俳句でも秋の季節になるそうである。しかし、秋の夜空ともなる、何となく恋も冷くなり、新暦でいくとこれはまた早すぎるような気もするが、この辺で行われている八月六日は、その点頃合いで納得がゆく。昔人の生活の知恵が今でもそのユニークさを欠かない。

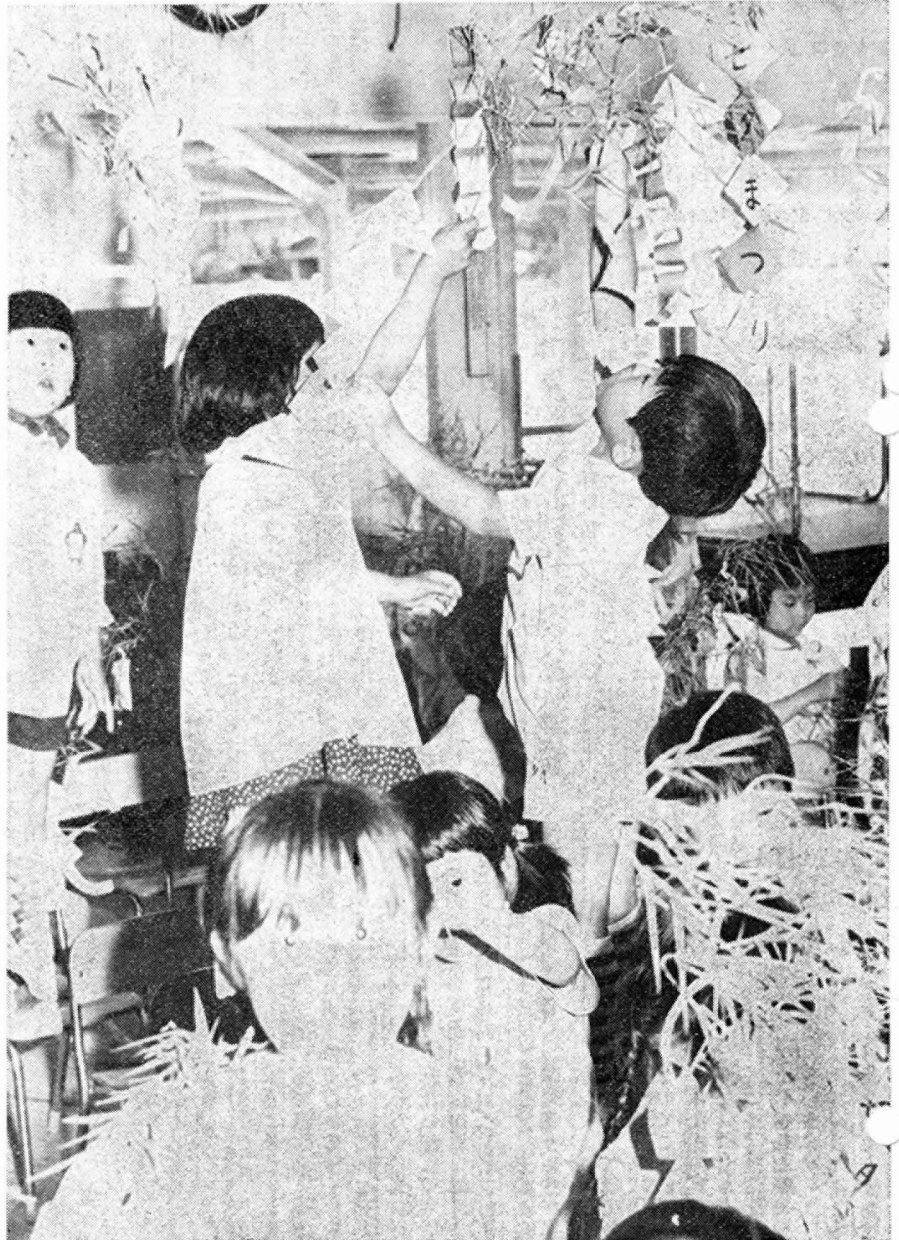
時間を超えた夢物語

ひこ星とひめ星は年に一度などと気軽に言っているが、この

など、気軽に言っているが、この二つの星の距離は十五、五光年と言われている。ご承知のとおり、光が一年間走り続ける距離九兆四六七〇億キロを一光年と称しているから、何とまあその距離の遠い

こと、そして二つの星は何とまた早いスピードで逢瀬のために急ぐとか、宇宙は想像を超える夢があってもいい。この夢は所せん人間の作ったしろものに違ひはないのだが、時間を超越しているところに魅力がある。

毎日セカセカ一分一秒を争って生きている生活の中に、何時も何かに追いまくられているかぎりがある。この七夕を機会におおらかな時を過すことが、生活にどれ程うるおいのあるものにしてくれるか、家族ともども考えてみたい問題である。



アタシの方が、いやオレの方がひこ星とひめ星の竹くらべ

（広報紙中にある写真を欲しい方にはお
あげします）

広報
サロン

明日への夢を生む拠点に

杉沢地区若妻会長 佐々木ヤス子



このたび私達の地域に五城目町生活改善センターが完成し、喜びにひたっている。残念ながら今まで地域的な集会成为ると、部落公民館はあるにはあるが、使用に応じ得なかったし、杉沢小学校の教室に頼ってきたところであるその意味でようやく地域住民のためものが出来たという感じがひとしおで、感慨も深い。

この地域のほぼ中央に位置しているが、緑にかこまれた静かな環境である。センターは外から眺めると、杉丸太や杉板一色で、かりにもしょうやかな建物とさえ言えないが、一歩建物の中に足を踏み入れると、三個のライトがグリーンの中のケースに包まれて迎えてくれるが、妙に心を和ませる。これが本当のライトグリーンかも。そして入口右手にミニ庭園が用意されている。

生活改善室には、十五人分のガスステールと、電子レンジ、冷蔵庫など整列、私たち台所をあずかる者にとつては魅力のある部屋である。

昼の香りも豊かな和室は、天井が特徴的だ。障子紙を通して上から注ぐ光はまた格別なソフトムードをただよわせる。外観と違つて内側はまた見事にしつらえてある。

町内のみなさん、私たちが誇りに思っているセンターに、一度おい出ください。

今後、私たち地域づくりのために、様々な話し合いが続けられるだろうがこのセンターはその拠点となり、次々と明日への夢を生んでくれることだろう。

参議院議員通常選挙終る

本町の投票率 七六・三九%

男子上昇、女子下降の投票率

去る七月十日行われた参議院議員通常選挙は「保守逆転」がその焦点となり、全国区五十議席、地方区一七三議席をめぐり、攻防の激しい選挙戦が展開された。その結果、秋田県からの選出議員は自民新の野呂田芳成氏が当選し、四十二年の補選以来十年ぶりに社会党から議席を奪還した。これに保守合同以来の悲願であった「二議席」独占となった。なお沢田候補は前回より三万票を上積みしながら、三回目の指定席は取れなかった。

投票率四十九年より一%下る

本町の投票状況をみると、当日の有権者数一二、三四人で投票者数は九、四〇七人、七六・三九%の投票率となっている。立候補者の得票数は(全国別表)

・男子 七八・三九%
・女子 七四・六二%
で、四十九年より男子が上昇し、女子が二%ほど下っている。関心度の違いであろうか。

高い内川、大川地区の投票率

また、二十二投票所の内、投票率が八〇%を超えたところが七カ所もあり、その最高は内川第三投票所の九一・三%である。なお地区別でも内川地区が強く八一・二〇%、次いで大川地区の八〇・三七%、最も低率なところは面湯地区の七〇・三六%である。

全国区九一人に投票される

全国区の立候補者は、総数一〇二人であったが、本町から一点も投票されなかったのは十一人だけ、あとは一点から最高の一八二票の片山候補まで九一人に投票されている。もちろん街頭演説も、ボス

みは痛い。本町の投票率は、七六・三九%と四十九年より一%落ちているが、これを男女別にみると

全国選出議員得票数

(50票以上、端数は切捨)

片山正英	1,823
佐藤たか夫	1,178
宮崎正義	692
下田京子	642
藤井ひろひさ	323
あき山あつし	269
やすつね良一	213
大森昭	187
竹内きよし	153
田中すみ子	147
梶木又三	139
増岡こうじ	134
楠正俊	130
松井つね子	129
木正吾	119
代英太郎	107
玉置和郎	101
西村尚治	100
栗林卓司	94
徳永正利	92
山崎昇景	88
扇千利	87
中村次郎	82
松前達雄	80
伊江朝雄	79
石本しげる	77
江田五月	70
望月優子	68
日英夫	67
堀江正夫	62

山の遭難を防ぐために
万が一のことを考えて

去る六月十三日以来行方不明になっていた鳥井与司雄さん(三十三才、上樋口)は同月二十日遺体となって発見された。遭難からじつに一週間ぶりのことであった。

この間地元鹿角警察署、同消防団をはじめ鹿角市民の寝食を忘れた捜索ぶりには本当に頭の下がる思いで、心から御礼申し上げたい。今後二度と遭難事故を防ぐため皆さんに今回の事故概況と山に入る場合の心構えについて呼びかけた。

ターもない候補者がズラリで、その浸透ぶりはおどろきに値する。この位政策の内容が浸透するならば庶民の生活も、もっと別なものになっているかも知れない。

公約を見守りたい

この選挙期間中アキる程立候補者の公約を聞かされたが、果してどんな形で選挙民に返ってくるか見守りたい。参議院選挙は、日本の政治の「定期的な健康診断」だと言われる。

選挙民は果して健康な診断をしたかどうか。

【遭難の概況】

鳥井さんは去る六月十三日午前三時ごろタケノコ採りをするためマイクロスパスを運転し、子ども一人を含む八名で鹿角市御所掛温泉付近に出かけた。

本人は全く山に入ったことはなくこの日も運転手として行った。山に到着後すぐさま朝食を取った鳥井さんは留守役で、他の七人は午前七時頃山に入り午前十一時までは集合する約束であった。午前十一時七名は約束通り戻ったが鳥井さんの姿は見えなかった。多分その辺にいたであろう。

最初のうちはそう思ったが、二時間、三時間経っても姿が見えずいくら名前を呼んでも答えない全く手掛りのないまま午後六時半家族へ行方不明の連絡とあいなった。すぐさま家族からの連絡で警察へ捜査ねがいが出され、翌十四日から本格的な捜索活動が行われたのである。

六月十四日からは本町の消防団上樋口部落住民、同青年会と地元警察、消防、市職員など併せて一五〇名余りを動員し捜索に当たった。しかし連日わたる精力的な捜索活動も実らず、行方不明後一週間目の六月二十日ようやく発見された。見つかったときはすでに帰らぬ人となっており、関係者に深い悲しみをもたらした。

山菜とりの事故を防ぐため

このことから、山菜とりの事故防止するためつぎの点によく注意してほしい。

- 一、知らない山には絶対に一人で入らないこと。
- 二、軽装で山の奥へ入らぬこと。
- 三、山に入るときは必ず目標を定めて行動すること。
- 四、山へは早く入り早く下山する
- 五、食糧は余分持って行く。

夏山登山五力条

町民のみな様に、心からの

おわびとお礼を申しあげます

去る六月十三日、夫与司雄が自らの不注意で遭難した際には、町当局をはじめ、岩野、館町町内の方々、それに消防署、各地区の消防団員など、町内のみならずは多大なご迷惑とご援助をいただきました。誠にありがとうございます。

心から厚くお礼申し上げます。六日間わたる必死の捜索にもかかわらず、夫の行方が音として知られない時は、も早やあきらめかけたりしましたが、皆様のしつた激励で七日目の捜索をしたのでございます。どうか生きていて欲しい。陽の光りよりまだ細い可能性にすがります。せめて遺体でもよいから見つかることを、錯さうする祈りをこめて山へ向っていただいたのでございます。

みな様の真心が天に通じて幽明境を異にする夫の霊を呼び戻したのか、捜索を最後とする日に、もの言わぬ姿で発見されたのでございます。

捜索隊のみな様は、疲れた体にムチうちながら、五尺の体を求めて、入る山中をただひたすら探

また、これからは高校生、大学生などが夏休みを利用して県内外で夏山登山を楽しむものと見られるが、この場合、必ず地元各市町村または山岳会に届け出てほしい。登山届出にはつぎの点をはっきり記入してほしい。

- ①行先
- ②日程(時間まで)
- ③パーティーの人員とリーダーの氏名
- ④パーティー及びリーダーの登山経験
- ⑤装備及び携行品を詳しく書く。など、不測の事態を十分に考慮に入れ準備していただきたい。(五城目消防署)

していただきました。連日申し訳ないとは思いますが、人様の情をこんなに尊くありがたと思ったことはありません。ありがとうございます。重ねてお礼を申し上げます。

なお最後の日には、バス二台を五城目町から、捜索隊本部には地元鹿角市長さんが終日陣頭指揮をとってくださいました。加賀谷町長さんのご配慮と伺っております。夫をみ仏とする身になってからい知れない不安と寂しさを感じておりましたが、このごろになってようやく夫の霊を慰める道は自分が強くなり生きていくことであると考えるようになりました。

どうぞ今後とも生前の夫に賜りましたご厚誼同様、母子ともどもお導きくださいますようお願い申し上げます。

私事で誠に恐縮でしたが、十九日の忌明けに広報紙上をおかりして、下手な文ですが、このたびの事について町民のみな様に深くお詫びし、心からお礼を申し上げます。次第でございます。

五城目町上樋口字切通
鳥井博

木村副知事との懇談会

木材の町づくりへ一歩前進

町民センターで

去る七月一日午前十時から町民センターで佐々木喜久治副知事と町内各層代表との懇談会が開かれた。この懇談会は、五年前から行われているもので、県政推進のうえで県民の声を少しでも多く反映させ、地元でかかっている問題の解決に援助の手をさし、地域発展と県民生活の向上に役立てようという趣旨である。

今年度の要望は木材工業総合産地化推進事業に対する財政援助など「木材の町づくり」を推し進めるための重要事項など四件要望した。この成果が県の第四次総合開発計画と並んで今後どう発展するか注目したい。

懇談会の内容は概ね次のとおりである。

佐々木副知事のあいさつ

県政に市町村の声を反映

市町村訪問は、将来の県政に皆さんの声を反映させるつもりで行っている。今日は皆さんから思っているの意見がうけたまわりたい。また昨年、県で第四次総合開発計画を策定し、現在第二次年度に入った。この計画にある各種の事業を完全に実施するためには、各々の事業について市町村の関係者と十分な意思の疎通を図りながら促進したいと考えている。この懇談会を機会に皆さんからご要望をうけたまわりたい。

町とのつながりを深める機構改革

県では本年度に機構改革を行った。とくに地方の出先機関を充実強化するため従来の総務事務所から地方部に改組し、部内の仕事はもろもろのこと、県政と市町村間の太いパイプ役を担うものである農業関係について、現在の普及所に農業指導センターを併置してこれまでの単なる技術指導だけでなく、農家に対する指導など多面的な要望に即応するため設け

たのでどうか十分なるご活用を願いたい。

町長歓迎のことは

赤字解消に感謝

町民にかわって一言歓迎のあいさつを述べたい。いつも県首脳部から町にたいしてご理解をいただき心からお礼申し上げたい。とりわけ、財政規模二〇億円の町で一昨年七千五百万円にのぼる赤字を出した。当初米年度に赤字解消したいと思っていたが、五十一年度決算で赤字解消した。ただ町では役場庁舎がこの通り貧弱なため、私の意志のいかんにかかわらず町民の要請に応えるため、近いうちに役場庁舎を新築せざるを得ないと思う。そのおりにまたお願いしたい。

町民の要望を県政に

さて、徳川三百年の歴史で、水戸黄門が諸国を行脚して庶民のいろんな不満を取り上げ、国づくりに貢献した。小畑知事も数年前から市町村訪問をしているが、大きな仕事を手がけるときにあたって

は、私も県政に協力したい。そのため、町民のいろんな要望を汲み取って県政に反映してほしい。

加藤地方課長

過年度の要望事項の主なものを概略報告したい。

●県道秋田・蛇喰落合間の改良整備について

五十一年度坊井地、杉沢間を積寒事業で改良工事を完了した。五十二、五十三年度は杉沢、落合間

たが、メーカーによっていまだ足りないところがある。十分考慮して部品の安定供給できるように取り組みたい。

●農村総合整備モデル事業の追加配分について

当初は四カ年で完了する見通しであったが七カ年に伸びた。これは国の財政事情が悪化したためである。

昭和五十二年度要望事項

一、木材工業総合産地化推進事業に対する財政援助について

本町は、昭和四十九年度から秋田県の重点地区として木材工業総合産地化を推進中で、行政及び業界が一体となって「木材の町づくり」の方向を検討中である。この推進のネックとなっているのは、木材工業団地の用地の取得とその造成に要する資金の問題である。

秋田県における木材工業振興のため、これを制度化し、財政援助を措置されるよう要望したい。

県側答弁

木材工業の産地化には積極的に応援したい。用地については、買収から造成の方法はいろいろある。一つは中小企業近代化資金の貸付制度があるので活用してほしい。まず、この制度は工場などの集団化を進める資金で土地、建物がその対象になる。所用資金の六五％年利率二・七％の低利で償還は三年据置十年以内。

資格は原則として二〇名以上の会員を擁する組合である。②つぎに協同整備資金制度、これも所用資金の六五％、年利二・七％、償還期限二年据置、十年以内、で四名以上の組合に限る。③工場の高度利用事業である。これは土地、建物で所用資金の九〇％を融資、しかも無利子、償還期間が三年据置

十六年以内である。五名以上組合に適用される。また、用地先行取得事業として、貸付額は所用資金の一〇〇％、年利七・九％、償還期限五年以内、貸付先は地方公共団体及び市町村土地開発公社に限られる。

など、各種の融資制度があるので、ご利用願いたい。

二、国道二八五号線の安全施設について

国道二八五号線、富津内落合集落内延長七五〇mに安全施設として歩道を設置してほしい。

三、県道真坂・五城目線（森山入口）神明社延長三〇〇mに降雪帯を新設し、冬期交通の安全を確保していただきたい。

四、県道八郎湯・秋田線の危険防止について

県道八郎湯・秋田線の水沢・恋地間延長二、三〇〇mは、現道舗装（四m巾）されたが、危険箇所が多く、事故多発地区のため、早期に改良されるよう要望したい。



皆さんの力で四総を推進したいと述べる副知事

の整備を行いたい。要望の区間については、五十二年度においてルート調査のうえ具体的な計画を立てたい。

●雇用促進事業による勤労者のための休養宿泊施設の建設

この休養宿泊施設は五十二年度にメドがついたのは全国でわずか十カ所程度である。今年度設置は無理なので五十三年度実現できるように国に強力に働きかけをしたい。

●農業近代化資金で農機具を購入の場合、部品を供給できるように態勢をつくってほしい。

農機具の各部品は、最近では三年〜五年は供給できるようになっ

て、二、三年度は五十二年度の特別対策事業として同様の補助率で実施することにしたが、当町では五十二年度特別対策事業として貯木場の舗装三六〇〇m、林道小川口線の開設二〇〇〇mに各々一三三万円、二二五〇万円を計上している。

●二次林構の戸村堰に対する県補助金の起算区分について

これに対する補助は五十二年度には三〇万円から六〇万円に増額した。これからの一層の軽減を図りたい。

●県民生児童委員協議会に対する負担金の軽減について

二、三年度は五十二年度の特別対策事業として同様の補助率で実施することにしたが、当町では五十二年度特別対策事業として貯木場の舗装三六〇〇m、林道小川口線の開設二〇〇〇mに各々一三三万円、二二五〇万円を計上している。

二八五号線の改良については、五十三年度以降のなるべく早い機会に取付けたい。

三、県道真坂・五城目線（森山入口）神明社延長三〇〇mに降雪帯を新設し、冬期交通の安全を確保していただきたい。

県側答弁

用地関係さえ解決できれば早急に設置したい。

四、県道八郎湯・秋田線の危険防止について

県道八郎湯・秋田線の水沢・恋地間延長二、三〇〇mは、現道舗装（四m巾）されたが、危険箇所が多く、事故多発地区のため、早期に改良されるよう要望したい。

●県側答弁

ずい道か現道かを含めて本年度に調査を行い検討したい。

五城目町生活改善センター

(喜)(び)(の)(竣)(工)

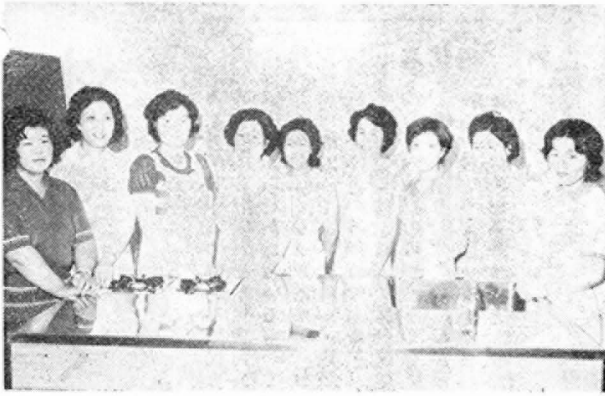
総工費 二千五百万円

恋地開設スキー場のふもとに建設中であつた、五城目町生活改善センターの竣工式が、去る七月七日、同施設で九十名の参加者を得て行われた。

これは、第二次山村地域農林漁業特別対策事業で取り上げ、総工費二千五百万円で作成したもの。恋地、坊井地、杉沢、合地など、杉沢地域コミュニティセンターや冬期間にはスキーロッジとしても機能する期待が持たれている。

木材の利用がふんだん

施設は、総面積二二八、六〇平方(六九、一五坪)である。外



センター完成の喜びをかみしめる若妻会員

それが後継者に伝わって、この地域の振興につながるものと思つてゐる。きれいな空気、きれいな水の求める宝でこれに勝るものはない自然環境を保持しながら都会的なよいところをどんどん入れて、皆さま方と共に文化的な生活を営むための試験台としていきたい」と結び農山村の環境整備を

強調した。

懸案の一つが解決

杉沢地域コミュニティ代表の石川会長は、「環境は申し分ない地域だが、地域的な集会所と水沢、恋地間の道路がせまいこと、この二つがこの地区の致命的なものであつた。このたび、その一つが解決されたわけで、関係者には心から感謝したい。

なおコミュニティについては、日まだ浅いので、今後この地区の人々と役場とよく話し合いながら効果をあげていきたい」と語つてくれた。

誇りに思う建物

県内にさきがけて

森林組合青年部設立

部長に菊地卓弥氏を選出

去る六月二十五日午後一時から役場第一会議室において、五城目森林組合青年部設立総会が行われた。

規約、事業計画、予算など審議可決したあと、役員選任に入り、部長に菊地卓弥氏を選出して終了した。

なおこの青年部は、県内の森林組合でも初めてといわれ、今後の活動が注目されることである。森林組合の青年部は、組合員もしくはその家族、または林業に意欲のある満四十才までの人が対象になり、これによって組織されていく。

青年部設立の目的は、林業経営に必要な知識と技術の向上を図り、互の意思の交流と親睦を高

なお、当日手伝いに来ていた同地区の若妻会員は、「正直言つて嬉しい。外側だけ眺めてる時はさ程期待してなかったが、中に入つて見て立派なことに驚かされている。先頃、東京からのお客さんが見えて、立派な立派だとほめていたが、私たちは今の建物を誇りに思つてゐる。研修に実習にフルに活用して生活に役立てていきたい。心から喜んでゐる様子であつたこのセンターが、杉沢地区の人々の心の寄りどころとなり、お互いの結びつきがより濃いものに波及していく事を期待したい。それはこの地区の発展の礎になるからだ。

め、森林組合が行う各種事業に協力して、地域林業の総合発展に寄与したいとしている。

今年度の主な事業計画としては九月、間伐、選木に関する講習会二月先進地の研修視察三月、校打ち技術の講習会、などのはか、森林組合のあり方などについて講習会を予定している。

なおこの設立総会には、五代儀秋田営林局販賣企画官、秋田農林事務所林務課伊藤指導係長、秋田県森林組合連合会佐藤事務、それに秋田県森林組合連合会会長でもある加賀谷町長などが出席して、お祝いや激励の言葉を寄せた。当日選出された役員は次のとおり。

(任期一年)

部長 菊地 卓弥
副部長 渡部 賢蔵、小玉 郁夫
理事 石井 久左門、小玉 輝雄、伊藤 正志、小玉 二雄、小野 久、柳原 正志、加藤 光義、工藤 善郎、石井 勝博、石井 邦憲、畑 勝男、監事 児玉 健、伊藤 隆

五城目町 100年

83

木村 謹治

①

小 野 一 二

昨年創立百周年を祝った大川小学校は、今年は新しい校舎ができ先日移った。旧校舎の隣りに新築された校舎は、素晴らしい鉄筋コンクリート二階建ての近代建築である。国道からも列車からも、学校の時計塔が望まれる。

さて、この大川小学校にグーテ研究で有名なドイツ文学者の木村謹治博士が学んでいる。

謹治は明治二年(一八八九)一月二日に大川村に生まれた。父は松助、母はナラである。謹治は十人兄弟の三男であつた。木村家は村の素封家、家をつぐ長男以外ほとんど東京の大学を出て、学者になるコースを歩んでいる。

この一族には、ちよつと指をおつただけでも博士の数は五指にあたり、実業界に名をなした者や演出家、俳優など、たちまちにうかんでくる。まことに見事な人脈といふしかない。

この見事な人脈には、不思議と村の村長となつて家に残つた男たちをのぞいては、政治家がいなくてある。古い地主の家の精神文化のパターンが、学問指向であつたことがわかつておもしろい。松助は対湖堂と号して、大変な学問好きで、木村家の土蔵には多くの漢籍から講義集、小説のたぐいまでつまつていた。

土蔵の暗がり、兄弟たちはたくさんの本を読みふけたものだといふ。松助は、多くの子弟に与えるほどの遺産はないが、そのかわり、子問だけはじゅう分にさせ

よう、教育こそ遺産である、といつたといふ。

大きな地主ではあつても、十人の子どもの教育費は大変なもので要求される通りの学費を送りつづけることは、相当に苦しかったらしい。そのかわり、謹治たちは東京に家を借り、女中までおいて、なにひとつ不自由のない学生生活を送るわけである。

(この項つづ)

国保税前年度より

六千三百万円の伸び

①

一世帯平均八万五千円となる

国保税の伸びた理由

昭和五十二年分国保税は、一期七月、二期九月、三期十一月、四期十二月に納めていただくことになっていて、(納期前に納付した場合は奨励金を交付する)本年度の国保税は総額で二億三百二十五万四千円、前年度に比較し、六千三百四十二万四千円の伸びとなり、一世帯平均税額八万五千円で四五%の増徴となる。

納税組合連合会総会

紀久栄町納税貯蓄組合など表彰

去る六月二十七日午後二時から町民センターで、五城目町納税貯蓄組合連合会定期総会が開かれた。当日総会に付議された案件は、昭和五十一年度事業報告ならびに収支決算書、昭和五十二年事業計画および収支予算案であつたが、いずれも原案どおり可決をみて終了した。

なお、当日総会の席上、納税貯蓄組合の活動が優秀であるとして表彰規定により次の方々が表彰されている(敬称略)

・納税貯蓄組合長
紀久栄町 堀 繁次
一番町 東 武蔵
平ノ下金野喜代太郎
・会計
雀 館 石川光雄
下山内 伊藤二郎
森山下むつみ
小玉徳雄



納税意欲向上のため横断幕を～古川町貯蓄納税組合

人、幼児については九三%の受診率となっており、医療費が年々増えている。また国庫から交付される補助金等が期待どおりになっていないこともその大きな要因となり、国保制度の仕組みから増徴せざるを得ないところである。

国保財政健全化のために

ご協力を

被保険者のみなさんには、深刻な経済不況の長期化に加えて、本町の被保険者の所得の大きな基盤である前年の農業収入は、冷害の影響から著しく低下しており、それにまた、本年度国保税の増額と多大な負担をおかけすることになるが、直面的な国保財政の危機を政理解いたさながら、今後の財政健全化と給付内容の改善に努めたいのでご協力をお願いしたい。

八月二十六日

戦没者追悼式を行う

この紙上が通知に

町では、来る八月二十六日午後一時三十分から町民センター・いやさかの間で五城目町社会福祉協議会、同道族連合会の協賛を得て五十二年戦没者追悼式が行われる。

この町で、祖国日本を支えるために戦場で散った人々の数は、陸軍四三三柱、海軍一〇三柱となっている。戦争の空しさ、遺族のご苦労を思えば、その慰霊は我々が忘れてはならない事の一つである。

当日追悼式終了後、東北民謡歌謡隊による演奏で、遺族のみなさんを慰安することになっている。

なお、このたびから遺族の方へ個人個人の通知をあげず、この紙上をそれに変らせていただくのであらかじめご承知ください。関係者は誘いあつて多数おいでくださるようお願いしている。

消防設備士義務講習の

実施について

消防法第十七条の八の二の規定により、消防設備士免状所持者に対する講習を次のとおり実施する

講習対象者

①消防設備士免状所持者で、昭和四十九年六月以前に免状の交付を受けたがまだ義務講習を受けていない者

②同免状所持者で昭和四十九年七月から五十一年七月までに同免状の交付を受けた者で義務講習を受けていない者

◎講 日および講習の種類

・八月二日

第一種

第一類(甲乙) 第二種(甲乙)

第二種 第三類(甲乙)

・八月三日

第四種 第五類(甲乙)

第五種 第六類(乙)

・八月九日

第三種

第四類(甲乙) 第七類(乙)

・八月十日、九日 同

声

広報に

投稿された方に
お答え致します

保育の時間

働く母親の時間に合せてほしい五城目保育園に園児を通わせている一人です。他市町村では、働くお母さんの時間帯に合わせて、保育さんたちが時差出勤を保っておられるようです。

五城目の場合は、昼間家族がいない家では、保育園まで出迎えの人を頼まなければならず、二重にお金がかかってしまう。母親の出退時間に合わせた方法をとって欲しいと思いますが、いかがなものでしょうか。

なお居残り保育もあると聞いていますが、子どもに与える影響などはどのようなものでしょうか

一園児の母

働く母親のため保育時間を配慮毎日子供をもつてお働きは苦勞が多いことと思います。

当園は保護者の皆様方のご後援によりまして、定員一ぱいの子供達を保育して居ります。おかげ様

・講習の場所および時間

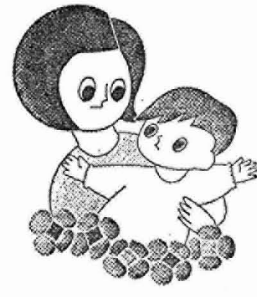
場所 秋田県正庁
時間 八時三十分より

・受講手続 十七時三十分まで

七月十八日より七月二十三日まで秋田県消防防災課に提出のこと。

申請書は消防署にあり、詳しいことは消防署予防係にお問合わせねがいたい。

なお受講しない場合は、免状の返納を命ぜられることがある。



(五城目保育園)

第二八回 県民体育大会 剣道大会
第一六回 秋田県実業団 剣道大会
秋田銀行A 優勝に輝く

第二十八回県民体育大会、第六回秋田県実業団の剣道大会は、去る七月三日午前十時から、広域体育館で行われた。

県体に二一二人の選手と、実業団対抗には二十六チームの参加で体育館は熱気に満ちた。

試合前、日本剣道形の演技があり、打太刀は教士六段畑沢実氏、仕太刀教士六段館岡昭氏の兩人により演じられた。

両氏は、太刀の形をはじめ十種目を演じたが、真剣を打ち振る両者のアウンの呼吸の見事に、観衆は水を打ったような静けさ、演技の終わった時は、見る人も演ずる人も思わずホーッと吐息が出る。

Aチーム決勝進出ならず

本町からは、実業団対抗に二チーム出場、Bチームは二回戦で秋田市農協に惜敗したが、Aチームは準決勝まで駒を進めた。

準決勝の相手は強豪秋銀チームAで、先鋒、中堅一対一で大将戦に決着が持ち込まれた。

館岡(研)大将は互角に試合を進めながら、終始動きまわる相手の動作にげんわくされてか、一瞬のスキに面をとられ、決勝進出ならず。

このチーム四十八年には、全県制覇しているだけに期待されていたが、近藤選手以外練習量の不足がそのまま成績につながったようだ。若い選手が多いだけに、今後の奮起を期待したいところであるなお、五十五才以下に出場した畑

沢選手は準決勝で秋田市の加藤(七段)選手に惜敗した。成績は次のとおり

- ・ 少年の部決勝 越後屋(秋南) コロ
- ・ 石田(秋高) コロ
- ・ 二十五才以下 渡辺(湯沢) コメ
- ・ 三十五才以下 メ田原(秋田) メ
- ・ 三十五才以下 目黒(秋田) メ
- ・ 小松(秋田) メ
- ・ 四十五才以下 伊藤(秋田) メ
- ・ メコ菊地(秋田) メ
- ・ 五十五才以上 奥山(秋田) コ
- ・ コ北島

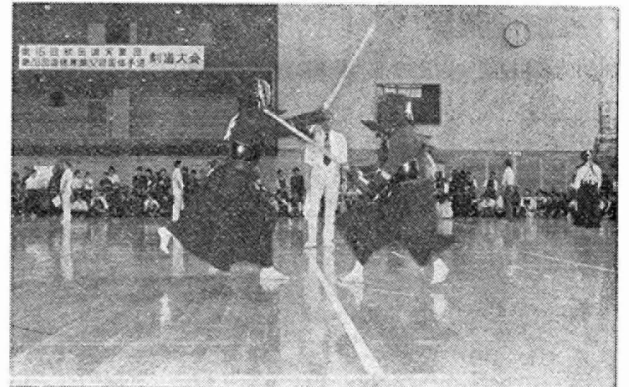
県体野球予選

役場チーム男鹿南秋の代表に

役場チームは去る六月二十五日から行われた、県体野球南秋予選で優勝、男鹿市との代表決定戦でも見事実力を発揮して、来る七月十六日、十七日能代市で行われる県体に、男鹿、南秋代表として駒を進めることになった。

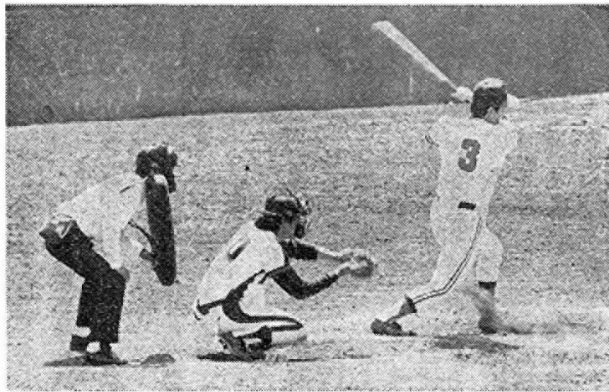
南秋予選準決勝

五城目	00000000000003
八郎潟	01000000000000
同 決 勝	
五城目	11000000000100
井川	00000000000100
	13



準々決勝で館岡(研)選手のメン決る

疲れをとらえて見事な逆点劇を演じたのである。決勝戦は、初回から小さきみに三点をもぎとり、力投する原田投手は、井川クラブを一点に押さえて南秋代表となった



男鹿南秋代表決定戦でベテランの味を見せる小熊選手(3)

南秋田郡中学校総合体育大会成績一覧

▼五城目第一中(団体)	・剣道(女子)	優勝
・野球	決勝 五中A2-0羽城中A	
一回戦	・体操(男子)	
五中4-5羽城中	優勝 一九八、二五五	
(延長8回)	・体操(女子)	
・バスケット(男子)優勝	優勝 一七九、一〇点	
予選リーグ	・庭球(男子)	準優勝
五中76-46井川中	決勝 五中0-3八郎潟中	
五中77-32天王中	・庭球(女子)	準優勝
準決勝	決勝 五中1-2八郎潟中	
五中78-25羽城中	▼富津内中(団体)	
決勝	・野球	
五中71-58八郎潟中	一回戦 富中0-18天王中	
・バスケット(女子)三位	・バレーボール(女子)	
予選リーグ	予選リーグ	
五中54-26天王中	富中 0-12 大潟中	
五中41-27羽城中	富中 0-12 潟西中	
準決勝	・杉沢中(団体)	
五中37-38井川中	卓球(男子)	準優勝
・バレーボール(男子)優勝	一回戦 杉中3-11羽城中	
予選リーグ	準決勝 杉中3-12五一中	
中2-0羽城中	決勝 杉中0-13天王中	
中2-0天王中	・バレーボール(女子)	
・バレーボール(女子)	予選リーグ	
予選リーグ	杉中 0-12 羽城中	
中0-2天王中	杉中 0-12 弘戸中	
中0-2八郎潟中	▼優勝(五一中)	
中0-2井川中	団体	
球(男子)三位	剣道女子	体操男子
面戦 シード(不戦勝)	体操女子	陸上女子総合
決勝 五中2-13杉沢中	卓球男子	卓球男子
球(女子)	個人	
面戦	体操男子総合	石井弘光
五中0-3大潟中	体操女子総合	菅原文子
道三位	卓球男子シングルス	館岡弘行
校リーグ戦	剣道女子	工藤里美
道三位	男子百m	畠山隆博
道(男子)三位	陸上一年	
選リーグ	男子四百m	小林 孝
中B 2-3 大潟中A	男子八百m	工藤有己
中A 3-2 羽城中B	男子走高とび	工藤和彦
中B 1-4 羽城中A	男子棒高とび	小林 孝
中A 3-3 大潟中B	男子百m H	猿田広秋
決勝	三年女子百m	佐藤みどり
中A 1-3 羽城中A	二年女子二百m	菊地和香
	女子走幅とび	石井 美

東南アジアへ旅行される方

コレラに注意

有田コレラを教訓に

先月、和歌山県の有田市でエルトコレラが発生したことは、私どもに大きな衝撃を与えた。それも「先進国日本」でのことである。原因についてはまだ結論が出ていないものの東南アジアの発生地と結びつけて因果関係が深い。

最近本町からも海外へ旅行する人が多い。とりわけ東南アジア方面が多いという。この一帯はコレラ汚染地域として世界的に名高く旅行者を媒介に国内に侵入することがしばしばある。とくに短期間に旅行する場合は感染しても発病するとは限らず、帰国の際には十分健康状態に気を付けてほしい。

もし下痢、腹痛などを訴え、医師の診察を受けるときは、汚染地域に旅行したことを詳しく述べて診察を受ける。

東南アジアが発生地

ここでコレラについて見てみたい。コレラの歴史は、十九世紀にさかのぼり、インドのガンジス河流域を中心に発生しヨーロッパ、アメリカ、アフリカ諸国に大流行している。

しかし、一九六一年以降に発生したコレラは、それまでの発生地域から、東南アジア諸国に移り、インドネシアのセレベス島南部に源を発し、たちまち世界中に広まった。病原菌もそれまでのものと異なりエルトコレラ菌といわれ十年以上にわたって流行し、すでに風土病化している。

コレラの感染経路

コレラは菌を経口的な摂取によって起る患者の初期症状は、水様便で、一ml中に約十億の菌が含まれる。患者の便が大量に排泄されるため一人の患者からおびただしい菌が散布される。コレラ菌は乾燥冷却に弱いが高湿多湿には強く、海水の中でも生まれるため海産食品も汚染されやすい。死亡率は小児が高く三〜五％大人は一％であり、再感染はまれであるが終生免疫とはならない。

飲んで乗る

あなたは天国

家族は地獄

飲酒運転追放無事故競争

飲酒運転追放のため、県民総ぐるみ運動が去る七月一日から九月三十日までの三カ月間行われる。この運動は、飯酒運転による交通事故を絶滅することを目的に展開するもので、昨年は五城目町が最も優秀な成績であるとして秋田県から表彰されている。

酒を飲んだら車(自転車を含む)を運転しない
・運転する前には酒を飲まない
・運転する人には酒を飲ませない
・など飲酒運転追放の「三ない」運動の徹底をはかりながらよい成績を取めたい

重点的推進事項

①家庭における活動
ア飲酒運転の恐ろしさを話し合い
わが家から飲酒運転者を出さないようにする。
イ乗客などが車で来たときは必ずかな量でも酒をすすめないこと。徹底し、習慣づける。

②地域における活動

ア各種会合を利用し
飲酒運転の悪習の追放を呼びかける
イ酒席を設ける会合には、車を運転してこないよう事前
に通知する。

③職場における活動

交通安全講習会などの会合であらた



衝突～被害者も苦難の生活がはじまる

滞在は一〜三日、ときには数時間ない五日以上である。発病は急激で下痢から始まる。回数が多いが一回の排泄量も多い。便は米のとぎ汁様の薄い白色を呈し、サラサラした水様便で量は第一回五〜七回、ときには十回をこえ、多くは腹痛を訴えない。おう吐も見られるが、下痢に先行することはない。苦痛を伴わずおう吐し、おう物は水様となる。このため発病後、数時間から半日ぐらいいの間脱水症状となり、手足は冷く、皮膚が乾燥し血圧が下がる。

早く治療すれば大部分は治る。海外旅行をされる方は、帰国後の健康管理に十分気を付けてほしい。

消火器五基贈呈

このほど五城目ロータリークラブ(会長加藤千雄氏、会員五十一名)から町に対し消火器五基が贈られた。

これは去る六月九日の例会で贈呈式が行われたもので、これまでの十基と併せて計十五基となった設置場所については新町、一番町、雀館里ノ下、築地町、電々公社裏新堀町幼稚園裏の五カ所である。消火器は火災の初期消火にはかけがえないものである。こうした善意に町内会、消防関係者から深く感謝されている。

ふるさと

めぐり開催

ふるさととは「遠くにおいて想うもの」として郷愁と感傷のふるさとを離れた本町出身のかたがたを対象にバスで町内を一巡し、お互いふるさとをめぐりあう。

①主催 五城目町教育委員会

②期 八月十六日(火)

③集合時間・場所 五城目町民センター午前九時

④出発時間 午前九時三十分

⑤内容

・はじめの会
午前九時〜九時三十分
主催者 あいさつ
激励のことば
日程・コース説明

⑥懇談会

・講話「町政の現状について」
五城目町長 加賀谷力司

⑦その他

昼食は主催者で用意する。

農事相談

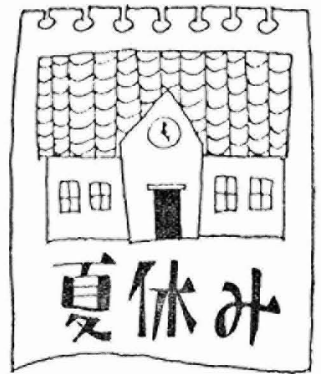
キャベツにコブが

質：キャベツにコブが出来て困っているが、これを取り除くよい方法はないか。
酸性土壌や排水不良地に
答：この病は根腐病と呼ばれる。酸性土壌や排水の不良なところに発生が多い。
種子や土壌から伝染するので病気の発生したところの土を、ごくわずかでも他の畑に持ち込まぬよう注意する。

防除方法

苗床では、PCNB二〇％粉剤を平方拵当り、二五〜四〇グラムを全面に撒き、一〇〜一五センチの深さに土壌とよく混和する。
本畑では、直径二〇センチ深さ一〇〜一五センチの植穴にPCNB粉剤を三〜六グラムをていねいに混和してから移植する。これは移植直前でもよいが、混和が粗末だと初期の成育を害す。
また石灰窒素を、播種、移植一〇〜一五日前に、一〇アール当り四キログラム施すと軽症のものには有効で、これにPCNBを併用すれば効果が大きい。

お知らせ



湖東総合病院

婦人科外来

二十一日(金)

馬川地区

馬川公民館

二十一日(火)

馬場目地区

蓬内台児童館前

二十七日(水)

杉沢地区

婦人病(子宮がん)検診

「今年も自分の健康を
集団検診で確かめてみましょう」

このたび婦人病検診の希望者が
まとまったので、下記の日程で実
施するので、受診ねがいたい。

※子宮がんは三十才～五十才代の
働き盛りの人たちが多くかかる
これを防ぐには、健康な婦人が
年に一、二回定期検診を受けて
早期発見、早期治療することに
ある。

・七月
二十日(水)・二十一日(木)
五城目、面湯地区

二十八日(木)

二十九日(金)

八月
二日(火)

三日(水)

四日(木)

四ツ屋伊藤キヨ宅前

落合部落公民館前

富津内地区
富津内児童館前

内川地区
湯ノ又部落公民館前

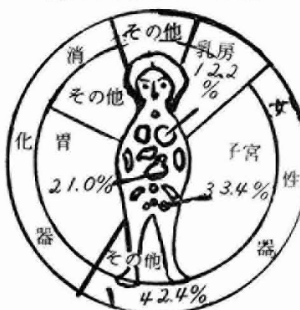
・受付時間
午後一時～二時

・開始時間
午後二時～三時

●受診料金五〇〇円(農協婦人部
若妻部員三〇〇円です)

●問診票用紙は毎年同じだが裏面
をよく読み記入していただいた

婦人のかかるガンの割合



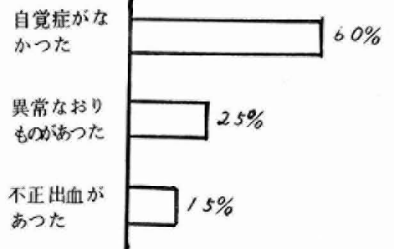
●洋服、和服どちらでもよいが、
スラックスの場合は腰に巻くも
のを準備した方が便利である。
当日は生理日であっても受けれ
る。

い。
●当日忘れずに持参願いたい。
●当日都合の悪い方は、他の場所
へ行って受診してもよい。
●前に申込みなくても希望者がお
つたらさそいあつておいでねが
いたい。
●受診結果は、一カ月以内に本人
の手もとに届くようになってい
る。

全国統計

0期	100%
1期	95%
2期	75%
3期	31.2%
4期	9.7%

子宮ガンを発見した初期症状の比較



日本対ガン協会「子宮ガンで死なない法」より

れていた第二回目の献血を次の日
程で実施するので、よろしくご協
力願います。

▽期日 七月二十七日

・役場前 前九時半～一時半

・農協前 前十一時～十一時五十分

電々公社前 後一時～一時四十分

中央交通前 後二時十分～二時五十分

保健所前 後三時二十分～三時五十分

▽申込 保健衛生課まで

▽その他

・献血者に県と町から記念品を差
しあげる

・手帳を持っている方は当日持参
願いたい

善意銀行預託者

・五月
十一日 五千円 高崎 匿名
(年金の一部を寄付したもの)

・十七日 五万円 田町 須田 一
(亡妻富子殿の香典返し)

・二三日 三万円 高崎 館岡茂吉
(亡長男東殿の香典返し)

・二八日 四万円 今町 北嶋壮一
(亡父益郎殿の香典返し)

・六月
十六日 二万円 畑町 京野章子
(亡夫実殿の香典返し)

老人ホームによせられた善意

・六月
十三日 一匹 八〇cm 六羽
鯉 大久保 菅原 章

・十九日 井川町民謡同好会

会長 三浦吉五郎他七名

二十一日 美容奉仕
秋田県美容環境衛生同業組合
南秋支部支部長 渡部新一他七名

・七月
四日 ザ・ドリフターズショウ招待

嶋崎商事株式会社

社長 嶋崎 正三

赤がね式から黒ビカに

さびた運動競技用ピストルを、
黒ビカにして感謝されている方が
いる。

それは、古川町の齊藤一郎さん
で、去る日、町内のレクリエーシ
ョンを開くため、雀館運動公園事
務局備付け競技用ピストルを借り
てきたところ、見事な赤がね式
であった。

斎藤さんは、職業柄この種の仕
事はお手のもので、早速分解掃除
をして、三丁のピストルは面目を
一新本来の姿をとり戻した。素人
はなれたこの技術に公園事務局
の皆さん、感心するやら感謝する
やら、心温まる善意のひとつま。

献血ありがとう

七月五日第二回目の献血が実施
されたが車の調子が悪く、第一会
場(役場前)終了後立往生したた
め中止した。

なお当日の献血者は次のとおり
です。

北島美保子 2 千葉 哲朗 23

近江みどり 5 伊藤 爾子 9

原田 功輝 3 児玉 昇 6

館岡 幸治 8 猿田 隆一 4

北嶋正千代 12 工藤 兼一 13

小原 昌作 24 渡辺カズ子 15

栗山 雅子 2 (つづく)